

第3回国民健康保険運営協議会（R5.12.26）

第3期国民健康保険データヘルス計画及び 第4期特定健診等実施計画の策定について

1 データヘルス計画策定の背景

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」ことが掲げられた。

またこれを受け、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」の一部が改正され、「市町村及び組合は(中略)健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画を策定した上で、保健事業の実施及び評価を行うこと。」と定められた。

2 計画の趣旨・根拠法令

【国民健康保険データヘルス計画】

健診・医療データ分析に基づく保健事業の実施内容やその目的・目標を定めたもの
根拠法令：国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針(厚生労働省告示)

【特定健康診査等実施計画】

特定健康診査及び特定保健指導の実施方法や目標等、基本的な事項を定めたもの
根拠法令：高齢者の医療の確保に関する法律第19条

いずれも、被保険者の生活の質(QOL)の維持・向上、健康寿命の延伸、その結果としての医療費適正化に資することを目的とするもの。

3 計画の策定経過

令和5年6月下旬：疾病統計を高い精度で把握・分析するため、医療費分解技術(レセプトデータから傷病名と投薬や検査等の診療行為を正しく紐づけして分析できる技術)を有する民間事業者へ委託。

令和5年10月25日：健康増進事業評価検討会(国保連合会主催)にて、データヘルス計画の進捗状況・掲載内容について自治体間で情報交換

令和5年12月23日：国民健康保険事業評価・支援委員会(国保連合会主催)にて、データヘルス計画について委員(有識者)から助言等を受ける。

4 第2期（現行）データヘルス計画について（評価）

	事業名	事業目的	事業概要	評価指標	計画策定時 実績（H28）	R5 目標値	R4 実績
1	特定健康 診査事業	内臓脂肪症候 群の早期発見 による生活習 慣病の予防	健診意向調査により受診申込を取り まとめ、個別・集団・ドック等での 特定健診を実施する。 健診未受診者及び未申込者に対して は受診勧奨を実施する。	特定健康診査受診 率	51.8%	60%	51.4%
2	特定保健 指導事業	内臓脂肪症候 群および予備 群の減少	特定健康診査の結果から特定保健指 導対象者を抽出し、生活習慣や検査 値の改善にむけ、専門職による面接 や電話、手紙等の支援を行う。	特定保健指導実施 率※1	31.3%	60%	39.9%
3	糖尿病予防 対策事業	糖尿病予防及 び重症化防止	・糖尿病重症化予防訪問指導 特定健康診査の結果から「糖尿病精 密検査回報書」を活用し、未受診者 の受診勧奨を行い、精密検査の受診 を促す。	糖尿病回報書 受診率	67.5%	70%	64.9%
			・糖尿病予防セミナー 高血糖者及び糖尿病治療者を対象と し、食事や運動指導を行う。	糖尿病予防セミナ ー3 コース受講者	49人	50人	コロナのため 中止
4	健診異常値 放置者 受診勧奨 事業	健診異常値を 放置している 者の医療機関 受診	特定健康診査の受診後、その結果に 異常値があるにも関わらず医療機関 受診が確認できない対象者を特定 し、通知書を送付することで受診勧 奨を行う。	健診異常値放置者 の減少	966人 (H31)	20%減 (H31比)	▲1.4%
5	特定保健 指導 未利用者 対策事業	生活状況の実 態把握や生活 習慣病予防	肥満・高血糖・高血圧・脂質異常を 併せ持つ者（マルチプルリスクファ クター保有者）に対し、訪問による 生活実態把握や特定保健指導を行 う。	特定保健指導 利用率※2	22.1%	20%	20%
6	ヘルス アップ セミナー	生活習慣病予 防の一次予防 の推進（肥満 者の減少）	肥満などの生活習慣病の危険因子を 有する対象者へ個別健康支援プログ ラムに基づいた運動や食事指導を実 施する。	参加者数※3	75人	80人以上 (1コースあ たり40人 以上)	39人
7	スマート イート 事業	働きざかり世 代への食生活 改善啓発によ る生活習慣病 予防	スマートイート（かしこい食べ方） の普及・拡大を図るため、健康課事 業等で試食の提供及び普及啓発を行 う。また、啓発該当年齢者ヘリーフ レットを送付する。	スマートランチ作 戦参加者※4	137人	300人	-
8	さわやか 健診	若年者の内臓 脂肪症候群の 早期発見によ る生活習慣病 の予防	40未満の被保険者に対して健診機会 を提供し健診受診を意識付けるとと もに、健診時及び健診後の保健指導 の実施により生活習慣改善を促す。	男性受診者のメタ ボ該当者及び予備 群の割合	30.6%	20%	27.8%

※1、2：特定保健指導の対象となった人のうち、初回面接を受けた人の割合を利用率、3か月または6か月後の実績評価まで終了した人の割合を実施率という。

※3：令和2年度より各コース30人定員へ変更

※4：スマートランチ作戦は就労や健康に対する興味関心が低いことから参加者の募集が困難であったため、対象者をその家族等に拡大した。さらに令和2年度より事業の見直しにより、スマートイート普及事業に内容を変更し実施しているため、令和4年度の実績はない。

5 医療費分析について

以下は、令和4年度の生活習慣病医療費の状況について、入院、外来、別に示したものである。上位5疾病をみると、がん、筋・骨格は入院・外来共通であるが、入院では、精神と脳梗塞と脳出血、外来では糖尿病と高血圧症と脂質異常症が上位となっている。

生活習慣病等疾病別医療費統計(入院)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	33,339,300	0.9%	7	76	1.3%	7	438,675	9
高血圧症	6,215,690	0.2%	9	30	0.5%	8	207,190	11
脂質異常症	3,233,950	0.1%	10	9	0.2%	9	359,328	10
高尿酸血症	0	0.0%	13	0	0.0%	13	0	13
脂肪肝	182,700	0.0%	12	1	0.0%	12	182,700	12
動脈硬化症	2,107,670	0.1%	11	3	0.1%	11	702,557	7
脳出血	78,934,440	2.1%	5	89	1.5%	5	886,904	2
脳梗塞	159,116,290	4.3%	4	203	3.5%	4	783,824	5
狭心症	64,464,100	1.7%	6	86	1.5%	6	749,583	6
心筋梗塞	10,049,110	0.3%	8	8	0.1%	10	1,256,139	1
がん	821,456,170	22.1%	1	1,012	17.2%	1	811,716	3
筋・骨格	316,017,400	8.5%	3	398	6.8%	3	794,014	4
精神	473,265,180	12.8%	2	941	16.0%	2	502,939	8
その他(上記以外のもの)	1,740,815,580	46.9%		3,018	51.4%		576,811	
合計	3,709,197,580			5,874			631,460	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)(令和4年度)

疾病分類	医療費(円)	構成比(%)	順位	レセプト件数(件)	構成比(%)	順位	レセプト一件当たりの医療費(円)	順位
糖尿病	481,713,200	9.0%	3	18,934	7.6%	4	25,442	3
高血圧症	371,454,920	6.9%	4	30,932	12.5%	1	12,009	12
脂質異常症	277,481,530	5.2%	5	21,667	8.7%	3	12,807	11
高尿酸血症	2,290,880	0.0%	12	269	0.1%	10	8,516	13
脂肪肝	5,979,200	0.1%	9	335	0.1%	9	17,848	8
動脈硬化症	3,025,860	0.1%	11	160	0.1%	11	18,912	6
脳出血	1,531,380	0.0%	13	83	0.0%	13	18,450	7
脳梗塞	22,841,970	0.4%	8	1,430	0.6%	8	15,973	10
狭心症	36,692,800	0.7%	7	1,750	0.7%	7	20,967	4
心筋梗塞	3,725,960	0.1%	10	123	0.0%	12	30,292	2
がん	834,658,220	15.5%	1	8,030	3.2%	6	103,942	1
筋・骨格	515,511,170	9.6%	2	29,911	12.1%	2	17,235	9
精神	247,889,380	4.6%	6	11,880	4.8%	5	20,866	5
その他(上記以外のもの)	2,573,569,190	47.9%		122,514	49.4%		21,006	
合計	5,378,365,660			248,018			21,685	

出典:国保データベース(KDB)システム「疾病別医療費分析(生活習慣病)」

6 第3期(次期)データヘルス計画について(分析から見えてきた課題と今後)

「5 生活習慣病等疾病別医療費統計(外来)」に記載のとおり、依然として、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の医療費の割合が高い。糖尿病はレセプト一件あたりの医療費も高く、外来医療費の9.0%を占めており、引き続き、糖尿病重症化予防、生活習慣病予防対策が必要である。

については、第3期計画では第2期計画で取り組んでいる事業について、PDCAサイクルを実施しながら引き続き取り組んでいく。

7 第4期(次期)特定健診等実施計画について(評価と今後)

現行計画は国が定めた目標値60%を最終目標とし、受診率・実施率向上に向けた取り組みを行ってきた。現在までの実績は下記のとおり。

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (見込み)
特定健康診査受診率(%)	51.6%	51.7%	48.6%	50.6%	51.4%	53.1%
受診率目標値(%)	53.0%	54.0%	55.0%	56.0%	58.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	40.8%	42.4%	39.5%	40.9%	39.9%	40.1%
実施率目標値(%)	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	55.0%	60.0%

次期計画でも目標値60%を最終目標とし、引き続き現在の取り組みを実施していくとともに、目標との乖離が大きい保健指導実施率については、SNSを活用した保健指導を実施するなど、時代に沿った取り組みも実施していくことで目標達成を図る。

【次期計画目標値】

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和11年度 (国基準)
特定健康診査受診率(%)	54.0%	55.0%	56.0%	58.0%	59.0%	60.0%	60.0%
特定保健指導実施率(%)	46.0%	49.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%	60.0%
特定保健指導対象者の 減少率(%)※	-	-	-	-	-	25.0%	25.0%